

【報道関係各位】

2021年10月19日

株式会社ベネッセホールディングス
ブランド・広報部

＼東大生の学びのエッセンスが詰まったコンテンツを11/25から無料公開／
「進研ゼミ小学講座」の新WEBコンテンツ「算数推理事件簿」

- 楽しく取り組める謎解きストーリーの展開で、算数が面白いと感じるきっかけを作る！
- 10/28から「QuizKnock」コラボの算数オンラインライブ授業も先行して無料配信！

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、代表取締役社長：小林仁、以下：ベネッセ）の提供する通信教育講座「進研ゼミ小学講座」は、WEBコンテンツ「算数推理事件簿」を11月25日より無料公開いたします。謎解きストーリーが少しずつ進む展開で、頭を柔らかくして考える算数の問題に挑戦。答えの糸口が見つかったときの楽しさを味わい、算数を好きになるきっかけをつかめます。パソコン・スマートフォン・タブレットで、無料でどなたでもご利用いただけます。また、WEBコンテンツ「算数推理事件簿」の公開に先行して、10月28日から東大クイズ王の伊沢拓司さん率いる「QuizKnock」とコラボした算数のオンラインライブ授業も無料配信いたします。

「進研ゼミ 小学講座」は、新型コロナ感染拡大による休校や分散登校、夏休みの延長など変則的な学習状況が続いたことにより、授業理解や学習意欲が低下し、算数のコガテ単元が増えたというお声を多くいただいております。また、東京大学新聞社の協力のもと現役東大生の小学生時代の学習実態を調査したところ、**現役東大生の文系で約5割、理系で約8割が小学生時に算数が得意だった**ことがわかりました（グラフ①、②参照）。そして、**算数で必要な力は、覚えることではなく「考えること」「読解力」「楽しむこと**だということ（グラフ③、④参照）や、**算数が楽しいと感じるのは「答えの糸口を見つける」発見の瞬間**であることがわかりました（グラフ⑤参照）。このような調査結果をふまえて、コロナ禍の様々な影響を受けている全国の小学生が「考える楽しさ・達成感」を体験し、「算数って面白い」「算数を得意にしたい」という気持ちを育ててもらいたいという思いから、本コンテンツを開発いたしました。「進研ゼミ小学講座」では全国の小学生に算数を楽しんでもらい、学習のモチベーションをあげるサポートができるよう、これからも応援してまいります。

＜WEBコンテンツ「算数推理事件簿」の概要＞

＜提供期間＞ 2021年11月25日(木)～2022年3月31日(木)

＜算数特別サイト＞ 下記ホームページにて公開いたします。

<https://sho.benesse.co.jp/cp/sansuuryoku/>



一筋縄ではいかない、頭を柔らかくして考える算数問題を、低学年向け・高学年向けにそれぞれ出題します。



2022年2月まで毎週水曜日に更新、少しずつ進むストーリーと合わさって算数への興味がより引き出されます。

最終問題は東大クイズ王からの挑戦状！

進研ゼミ会員限定コンテンツとして、東大クイズ王の伊沢拓司さん率いる「QuizKnock」とコラボした問題にも取り組みます。



<オンラインライブ授業 特別無料体験の概要>

WEBコンテンツ「算数推理事件簿」のリリースに先駆けて東大クイズ王の伊沢拓司さん率いる「QuizKnock」ともコラボした算数のオンラインライブ授業も無料で体験いただけます。どなたでもご参加可能で、算数への学習意欲を高めます。

<実施日程>10/28, 10/29, 11/6, 11/7

<オンラインライブ授業特別無料体験サイト>下記ホームページからお申し込みいただけます。

<https://sho.benesse.co.jp/cp/sansuuryoku/online/trial/>

東大生の小学生時代の学習実態を調査 ～現役東大生に、小学生時代に大切な学びについて聞きました～

■ 調査概要

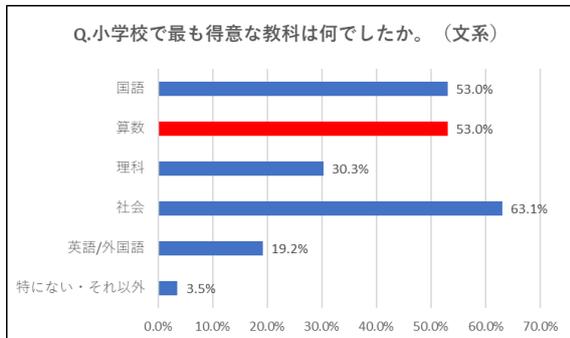
調査名：東京大学新聞社・2021年9月小学生時代の校外学習に関するアンケート

調査形式：インターネット調査

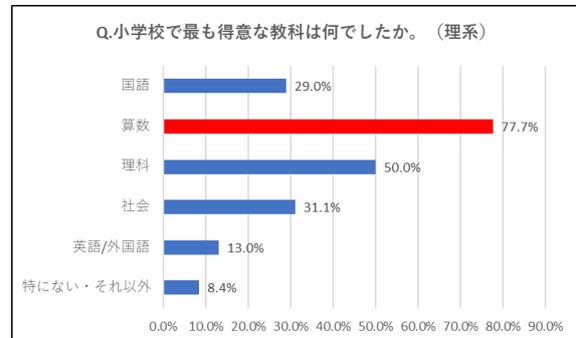
調査対象：現役東大生（有効回答数 436人）

調査実施時期：2021年9/7～9/20

＼小学校で算数が得意だったと答えた現役東大生は理系で約8割、文系で約5割／

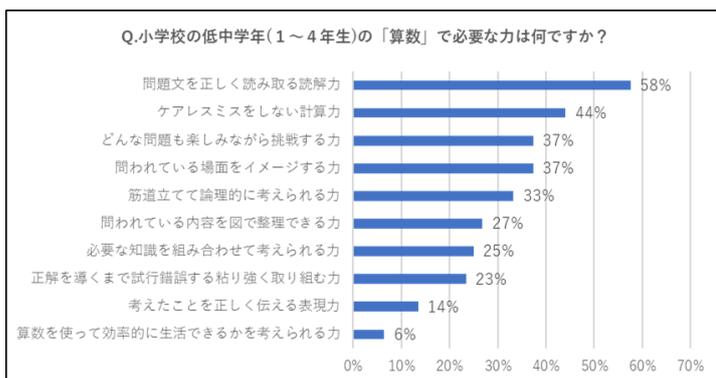


グラフ①

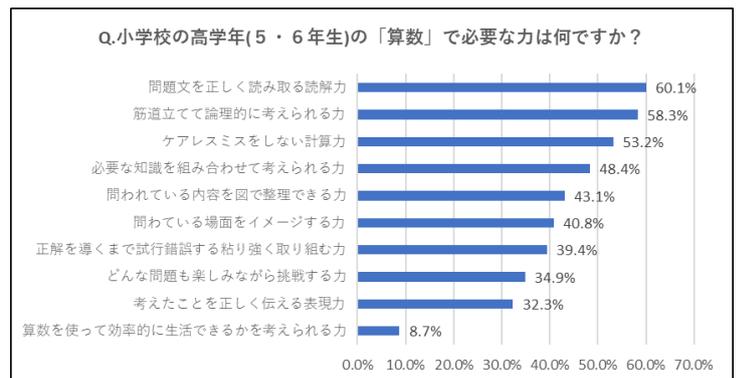


グラフ②

＼必要なのは「考えること」「読解力」「楽しむこと」／

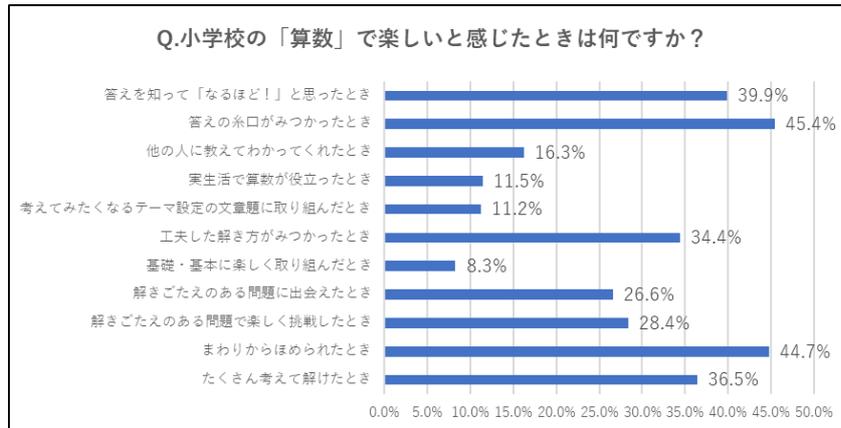


グラフ③



グラフ④

＼ 答えの糸口が見つかったとき、算数は楽しい！



グラフ⑤

< 現役東大生が「算数がトクイになるコツ」を伝授！ >

楽しむこと。暗記ではなく、考える癖をつけること。

問題文をよく読み、問われていることを正確に把握すること。

公式や定理などを、丸暗記するのではなく実際に自分で手を動かしたりしながら理解すること。

ゲーム感覚で問題を沢山解く。

パズルのように、試行錯誤しながら楽しんで解くこと。

計算はゲーム感覚で、文章題は場面を想像しながら取り組むこと。

文章を図で整理しながら問題を解く。

日頃から本を読む。すると問題文の意図が掴みやすくなる。

粘り強く考えて思考力をつける

宿題はちゃんとやる。すぐに答えを見ない。

たくさん問題に触れる。練習をたくさんする。

- 現役東大生（有効回答数 436 人）の 2.1 人に 1 人が進研ゼミ小学講座の受講経験あり！
おうち学習、算数力アップを支援する「進研ゼミ 小学講座」 <https://sho.benesse.co.jp/>

【※1】

「進研ゼミ小学講座」は、小学1年生から小学6年生まで継続してご受講いただける家庭学習サービスです。お子様の学校の教科書や授業の進度、お一人おひとりの理解度や目標に合わせて学べるので、限られた時間の中でも効果的に学習を進めていただけます。学習専用タブレットを使った個人別デジタル学習とお子様の成長を見守る赤ペン先生の担任制個別指導の組み合わせにより、お子様が主体的に学ぶ習慣を身につけ、目標に向けて継続的に力を伸ばしていく学習をサポートしてまいります。

算数のニガテ解消のための特別コンテンツ、「鬼滅の刃」のキャラクターと算数の問題に挑戦できる特設サイトも9/24～11/14の期間限定で無料公開しております。

[\(https://sho.benesse.co.jp/zemi/cp/kimetsu/\)](https://sho.benesse.co.jp/zemi/cp/kimetsu/)

グラフ①,②※調査委託先：東京大学新聞社※ 2021年9月7日～20日に現役東大生を対象として実施したアンケート結果より(有効回答数文系198人、理系238人、文理融合の学部・研究科は理系とした)。理系は77.7%、文系は53.0%。

グラフ③※調査委託先：東京大学新聞社※ 2021年9月7日～20日に現役東大生を対象として実施したアンケート結果より(有効回答数436人)。「小学校の低中学年(1～4年生)の「算数」で必要な力は何ですか」(複数回答可)の各選択肢の回答割合。

グラフ④※調査委託先：東京大学新聞社※ 2021年9月7日～20日に現役東大生を対象として実施したアンケート結果より(有効回答数436人)。「小学校の高学年(5・6年生)の「算数」で必要な力は何ですか」(複数回答可)の各選択肢の回答割合。

グラフ⑤※調査委託先：東京大学新聞社※2021年9月7日～20日に現役東大生を対象として実施したアンケート結果より(有効回答数436人)。

【※1】※調査委託先：東京大学新聞社 2021年9月7日～20日に現役東大生を対象として実施したアンケート(有効回答数436人)にて、小学校時代に一度でも受講した経験がある校外学習として「進研ゼミ小学講座」を選択いただいた方の割合(47.7%)。

本ニュースレターに関するお問い合わせ先

株式会社ベネッセホールディングス ブランド・広報部 萩澤・宮本・濱野・齋藤

TEL: 042-357-3658 FAX: 042-389-1757